

平成29年度 北海道小学校長会
第4回理事研修会
北海道特別支援学級設置学校長協会の
活動や要望について
2017. 12. 18



本年度、本協会には道内の小・中学校の8割の1,400校が加盟、5ブロック25地区で研究を推進している。

5月19日に定期総会研修会、9月1日に合同研修会を開催した。また、11月1・2日に千歳市において、全道から220名の参加をいただいて経営研究会石狩・千歳大会を開催した。次年度の経営研究大会は室蘭市で開催予定である。また、平成32年度には、函館市において全国大会が開催予定である。

道特協で実施したアンケート調査の結果、通常の学級における特別な配慮が必要な児童は、平均して1.6%在籍していることがわかった。また、特別支援学級及び通級指導教室において指導を担当している教員の50%が特別支援の免許を保有していることがわかった。全国平均は、30%台である。

課題としては、新学習指導要領への対応である。また、個別の教育支援計画、個別の指導計画の作成が義務づけられている。各学校・地域において、適切な対応をお願いしたい。